

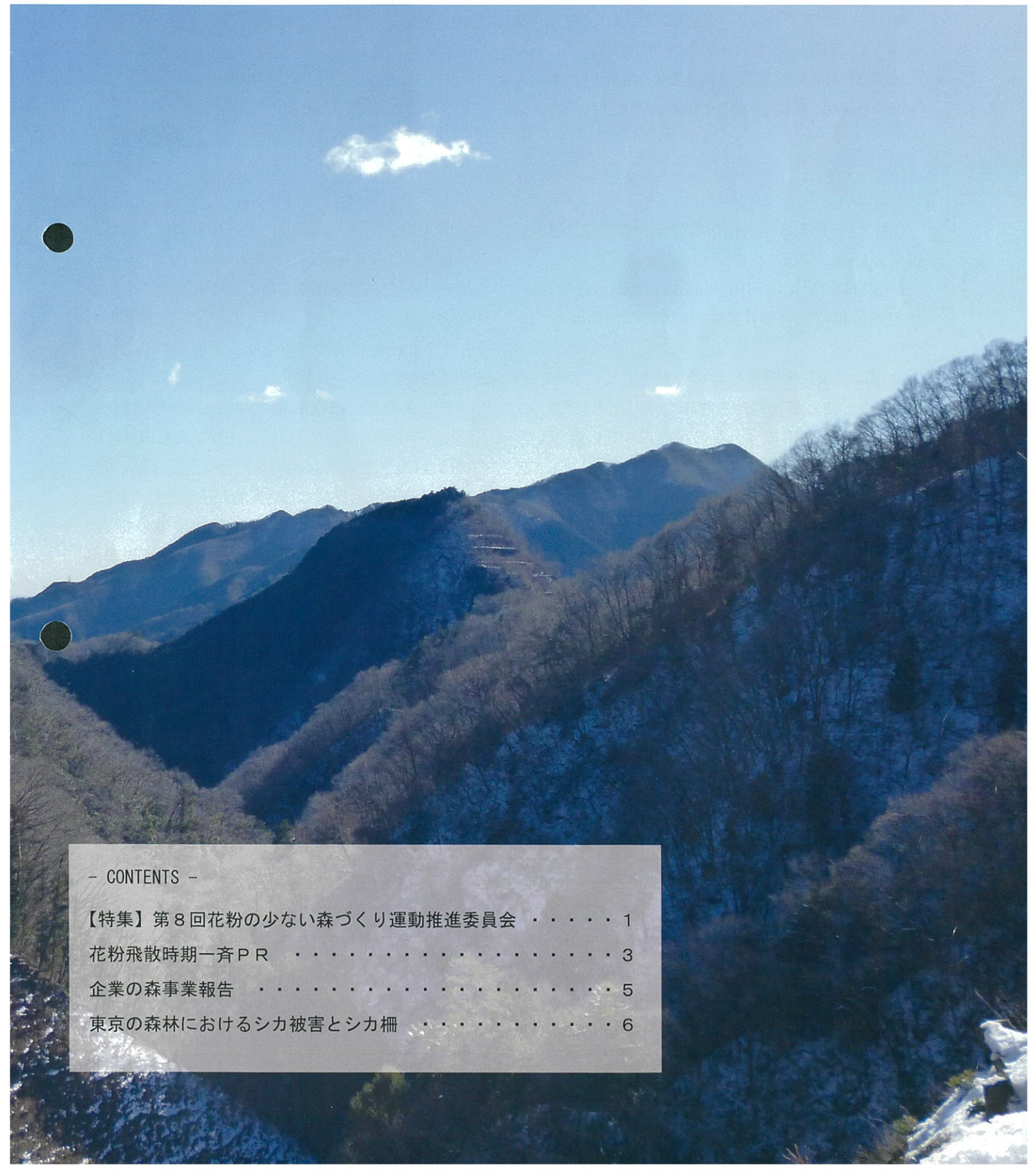


花粉の少ない森づくりを応援しよう！

# づくり支援倶楽部会報誌

25年度冬号  
第21号

発行日：平成26年2月21日



- CONTENTS -

【特集】第8回花粉の少ない森づくり運動推進委員会	1
花粉飛散時期一斉PR	3
企業の森事業報告	5
東京の森林におけるシカ被害とシカ柵	6

## 第8回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会

東京都では、花粉発生源対策事業を広く都民の皆さまにご理解、ご協力いただくため「花粉の少ない森づくり運動」を展開しています。活動のさらなる推進を目指し、「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会を設置しています。

委員は、林業関係者、商工関連団体、区市町村等の様々な団体の代表や、学識経験者など25名で構成されています。



1月21日に第8回「花粉の少ない森づくり運動」推進委員会が開催されました。

開催を前に、前田副知事から東京都は今後も花粉症対策に積極的に取り組んでいくとの挨拶がありました。

会議は、東京大学名誉教授の養老会長によって進行されました。事務局から昨年の取り組みについて報告の後、検討事項「今後の花粉の少ない森づくり運動の展開」と「東京の森林整備の推進」についてそれぞれ委員から意見がありました。

初めに、「今後の花粉の少ない森づくり運動の展開」における具体案として「2014年花粉飛散時期一斉PR」（P3～4参照）が事務局から提案されました。

主な内容として、①東京マラソンを活用したPR、②小学校における箸づくり体験等、③イベント・展示等の実施によるPR、④シンポジウム等を活用した情報発信が説明されました。

①東京マラソンでのPRは、今年で3年目となるが、今回の特徴として、花粉の少ない森づくり募金に寄付したチャリティランナーにランナー専用のTシャツを配布する傍ら、一人ひとりにお礼とPRをする機会を得たこと。②箸づくり体験では、水産物を介した食育活動である「ぎょしょく」普及事業に取り組んでいる小学校において多摩産材の箸づくりと配布するPR冊子を含め、森づくりについて考えてもらおうという取り組みであること。③イベント・展示等では、昨年実施した新宿駅南口の東京アグリパークにて2月いっぱいまでPRを実施し、また都営地下鉄の10駅

にてポスターを掲示すること。④今回新たな項目であるシンポジウム等を活用した情報発信では、本委員会の村山副会長も講演をされる2月開催の「花粉症予防・治療シンポジウム」等において昨年制作したPRビデオ等を活用し、PRをする予定であることが説明されました。

実施にあたり、東京農業大学教授宮林委員から「子供たちに説明するときには、花粉そのものが悪いのではない。」と丁寧な説明を行うよう提言がありましたが、その他、異議なしで実施が決定されました。

次に検討事項である「東京の森林整備の推進」について、委員それぞれの立場から様々な意見が出されました。

まず森林整備の現場から東京都森林組合代表理事組合長である小峰委員から「(多摩産材を扱う)多摩木材センターの取扱量もここ数年右肩上がり、昨年末から全国的に原木価格の上昇によって活況を呈しており、これも(花粉発生源対策)主伐事業が多く貢献しているのではないか。東京の森林を取り巻く環境がようやく好転の兆しを見せ始めていると感じている。引き続き主伐事業の継続が望ましい。」「山側としては林道や作業道の開設に取り組む必要を感じている。」との発言がありました。

林業家の田中委員からも「(森づくりに重要な)林道の支援に力を入れてほしい。」との意見がありました。

宮林委員からは、「主伐事業は非常にいい政策で、林業的に相当パンチが効いてきたと思っている。」「東京都の財産である森林を企業を含めて都民が守っていく、そのためには多摩産材を使っていくことが環



境を守ることにつながるといふ長期的な取り組みと、短期的には（東京）オリンピックにて木を使ったおもてなしを出しながらPRを行うことで森づくりを展開していくことが望ましいのではないか。」との発言がありました。

● 森林ボランティアに携わる森づくりフォーラムの久保田委員代理である松井氏からの発言では「企業の社員の皆さんが、森に触れてもらうことで楽しさを十分に知ってもらい、そこで森が好きになり、ボランティアが増えることにつながれば非常によろこばしいことだ。」と企業の森について触れられました。

木材を取り扱う立場から木材団体連合会会長の吉条委員からは「花粉の少ない森づくり運動を開始した当時と今とでは森林に対する環境がよくなってきたなど実感している。東京オリンピックは日本の木の文化を世界に知らせる絶好の機会になる。競技場に木材を利用すること等を期待したい。」との意見が出されました。

● 気象予報士の村山副会長から今春のスギ花粉飛散量について「前年より40%前後であるが、過去平均の60%ということで決して少ない数値ではない。花粉症対策は十分に行ってほしい。」との話がありました。また「舌下免疫療法※」が今年の夏以降に始まるのではとの情報提供がありました。

最後に、日本経済団体連合会の岩間委員の代理である松本氏から「最近、企業は本業に密接した生態系に係る分野へ貢献する傾向がある。企業が活躍できるメニューを提案し、貢献した個人・団体をいい意味でPRする場を検討してほしい。」との意見がありました。

閉会にあたり、養老会長は「今後も各委員より出されたご意見、ご提案を踏まえて、引き続き様々な取り組みをわかりやすく、実行していただきたいと思えます。」と締めくくられました。

団体名・役職	氏名
1 東京大学名誉教授	(会長) 養老 孟司
2 作家	(副会長) C.W.ニコル
3 気象予報士	(副会長) 村山 貢司
4 林業家	田中 惣次
5 林業家	福田 珠子
6 東京農業大学教授	宮林 茂幸
7 (一社)日本経済団体連合会環境本部長	岩間 芳仁
8 東京経営者協会常務理事	平井 康行
9 東京都商工会議所連合会幹事	落合 隆
10 東京都中小企業団体中央会会長	大村 功作
11 (一社)東京工業団体連合会会長	宇野澤虎雄
12 東京都商工会連合会専務理事	長谷川 登
13 東京都商店街振興組合連合会理事長	桑島 俊彦
14 日本労働組合総連合会東京都連合会事務局長	杉浦 賢次
15 特別区長(千代田区)	石川 雅己
16 東京都市長会(東大和市長)	尾崎 保夫
17 東京都町村会(奥多摩町長)	河村 文夫
18 東京都農業協同組合中央会会長	村野 弘一
19 (一社)東京都木材団体連合会会長	吉条 良明
20 東京都森林組合連合会代表理事専務	植竹 一郎
21 東京都森林組合代表理事組合長	小峰 幸憲
22 (特)森づくりフォーラム理事	久保田繁男
23 (公社)東京都医師会理事	(副会長) 角田 徹
24 東京都合板組合連合会会長	井上 篤博
25 東京都町会連合会会長	大崎 秀夫

※舌下免疫療法：花粉エキスを注射するのではなく、舌下（げっか）から服用する方法で、副作用や苦痛が少なく、自宅でも実施可能な治療法

# 花粉の少ない 森づくり運動 花粉飛散時期 一斉PR

2014年1月～3月

東京都では、多摩のスギ林を花粉の少ないスギ等に植え替えるスギ花粉発生源対策を実施しています。この取組に、都民や企業等から広く協力を募るため「花粉の少ない森づくり運動」を展開しています。

スギ花粉の飛散時期を迎えるにあたり、運動の集中的なPR活動を展開します。

## 1 都民参加型

### まちの先生見本市

実施日：2月1日（土）  
会場：新宿区立西新宿小学校

学校では学べない環境学習を目的に毎年開催されています。企業・団体によるエコに関する様々な展示やワークショップが行われました。当運動では、事業紹介のパネル展示と多摩産材の木工教室を実施しました。



## 2 東京マラソン

### 東京マラソンEXPO2014

実施日：2月20日（木）～22日（土）  
会場：東京ビッグサイト

東京マラソンに先立つイベントとして、マラソンのフィニッシュ地点となるビッグサイトで開催されます。スポーツ関連だけでなく多種多様な企業が出展し、ランナーはもちろん、走ることに興味のある方など多くの来場者で賑わいます。当運動では、会場内にブースを設置し、事業パネルの展示やグッズ配布などでPRを行います。



写真は昨年のEXPOの様子です

### 東京マラソン2014（東京大マラソン祭り2014）

実施日：2月23日（日）  
出展場所：アスリートスタジアム（有明イーストプロムナード）

東京マラソンを盛り上げるために様々な趣向のイベントが開催されます。トークショーやアスリートによるデモンストレーションのほか、屋台や物産販売も。多摩産材グッズも販売します。

## 1 都民参加型の 体験教室

多摩産材を活用した木工教室等の開催

## 2 東京マラソンを 活用したPR

東京マラソンEXPO2014、マラソン当日に、ブース設置、多摩産材の紹介やグッズ配布によるPR

## 3 PRブースの 展示

協力施設において、多摩産材で作製したPRブースを展示

## 4 都営地下鉄での ポスター掲示

都営地下鉄10駅の構内で、花粉の少ない森づくりPRポスターを掲示

## PRブース

### エコギャラリー新宿

実施日：常設展示（10時～21時）  
会場：新宿中央公園内（新宿区西新宿2-11-4）



新宿区立環境学習情報センターにおいて、当運動のPRブースを設置しています。3月末までエントランスに常設展示されており、お気軽にお立ち寄りください。

展示中



## 東京都民銀行にてPRブースを展示します

本運動にご理解、ご協力いただいている東京都民銀行さまでは、今年も花粉飛散時期にPRブース展示にご協力いただくこととなりました。右記の4つの支店に設置されますので、ぜひご覧ください。

- ・2月26日（水）～3月11日（火）  
池袋支店、東新宿支店
- ・3月12日（水）～3月26日（水）  
青梅支店、保谷支店

東京都民銀行 <http://www.tominbank.co.jp>

## 道の駅八王子滝山

展示：3月4日(火)～3月8日(土) 9時～21時

当運動のちらし等を設置したPRブースや事業紹介のパネル展示を行います。花粉の少ないスギの苗木もご覧いただけます。



PRブース

都民参加型

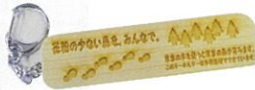
**参加者大募集！ 先着各100名！直接会場へお越しください**

木工体験：3月8日(土) 10時～15時 (予約不要※)

- **東京の木のおはし作り**  
(小刀で削り、紙やすりで仕上げます)
- **東京の木のキーホルダー名入れ体験**  
(焼付けペンを利用します)

いずれも参加費  
**300円**  
(花粉の少ない森づくり募金として)

※時間帯によっては満席によりお待ちいただく場合がございます。予めご了承ください。



住所：八王子市滝山町 1-592-2

電話：042-696-1201

交通：(車) 八王子 IC から約5分、新滝山街道沿い  
(バス) JR 八王子駅北口 11 番乗り場、または、京王八王子駅 4 番乗り場から、バス停「道の駅八王子滝山入口」下車

## 展示中

### 東京アグリパーク

入場無料  
直接会場へお越しください

展示期間：2月4日(火)～2月28日(金)  
10時～16時 (12時～13時昼休み)

PRブースやパネルの展示、事業紹介のビデオが放映されています。また企業の森については、各企業ごとにパネルを制作し、詳しく事業を紹介しています。

ウッドチップによる  
募金の協力をお願いします



PRブース

住所：渋谷区代々木 2-10-12

JA 東京南新宿ビル

交通：JR 新宿駅南口より徒歩4分、甲州街道沿い



## 掲示中

### 都営地下鉄でのポスター掲示

実施期間：2月20日(木)～2月26日(水)

下記の都営地下鉄駅構内にて、花粉の少ない森づくりPRポスターを掲示しています。

新宿駅、新宿三丁目駅、神保町駅、六本木駅、日比谷駅、三田駅、汐留駅、新橋駅、東銀座駅、日本橋駅



写真は昨年の様子です



都営地下鉄

## 花粉の少ない森づくり運動パネル展示 in あったかホール 八王子市

展示期間：3月1日(土)～3月31日(月) 会場：ECO PLAZA(あったかホール内)

八王子市北野町にある「あったかホール」は、清掃工場の余熱を利用した温水プールのほか、多目的ホールなど様々な施設があります。その中でも「ECO PLAZA」は、環境リサイクルを世界の自然から考えるスペースとして色々な催しが行われ、本事業もパネル展示を実施することになりました。

入場は無料です。お気軽にお越しください。



住所：八王子市北野町 596-3

電話：042-656-4126

時間：8:30～21:00 (平日)

7:30～21:00 (土日休日)

休館日：毎月第1月曜日(国民の休日の時は翌日)その他、設備点検等のため臨時休館日

バス：JR 八王子駅北口 4 番乗り場、または、京王八王子駅から「八王子車庫行」バス停「あったかホール前」下車



## 企業の森事業報告

### 第20号「グリーンアークの森(御岳)」協定締結

「花粉の少ない森づくり運動」の一環として、企業・団体の協賛により、継続的な森づくりを行う「企業の森」を実施しています。昨年12月16日に新たな企業に参加されましたのでご報告します。

今回で企業の森第20号となる「グリーンアークの森(御岳)」の協定締結式を、特定非営利活動法人グリーンアークの森、公益財団法人東京都農林水産振興財団にて執り行いました。

特定非営利活動法人グリーンアークの森は、植林を通じてよりよい地球環境の実現に寄与するという法人の目的の一環として、企業の森にご参加いただ

きました。今後約10年にわたり、対象地の森林整備費等の負担や森林整備活動を予定しています。

#### ▼ 協定締結式



## 企業の森活動報告

企業の森では、参加企業の社員の方やご家族などが参加し、森林整備活動を行っています。今年11月に行われた活動をご報告します。

この2つの活動により平成25年度における企業・団体のイベントによる森林整備活動は終了しまし

た。今年度のイベント回数は合計23回、参加のべ人数は1,117名に上ります。

今後も引き続き、協賛企業・団体の方々と共に「花粉の少ない森づくり」を進めて参ります。

### 東芝府中・日の出の森

東芝労働組合 府中支部

11月9日(土)「枝打ち・間伐ほか」

参加人数：42名

指導員：青梅りんげん



今年2回目の作業となる今回は、間伐、枝打ちと橋の架け替え作業を行いました。

山作業専用の一本梯子で高いところまで登る枝打ちでは、初め「怖い」という声もありました。しかし、皆さん集中力をもって作業を行いスムーズに枝を切り落としていました。

一方、間伐作業は急斜面に苦心しながら、声を掛け合い協力し合って作業を進めました。

午後は、老朽化した橋を撤去し、この森の木を使い全員で作った新しい橋に架け替えました。

また親子向け自然観察会では、土に眠る幼虫や沢に生息する昆虫の観察などを行い、東京の自然を楽しみました。



### 企業の森・いなげや(青梅)

株式会社いなげや

11月9日(土)「除伐・刈り取りほか」

参加人数：52名

指導員：森づくりフォーラム



今回は、5つのグループに分かれ、それぞれの森林整備作業を行いました。

森の中では、ニセアカシアの除伐とアズマネザサの刈り取りをそれぞれ行いました。二種類とも生長が早く、周囲の木々の生育を阻害するため、今回集中的に取り除きました。除伐では鋭いトゲに十分注意しながら5m以上あるニセアカシアを伐倒しました。アズマネザサは草刈り用ハサミで刈り取り、作業後には木々の根元がきれいになっていました。

森の一角では、対象地の残材を活用し、薪割りや焚き火を行いました。昼食時には、暖かな火を囲みながら休憩をとることができました。



## 東京の森林におけるシカ被害とシカ柵

### 東京都農林総合研究センターの研究成果

伐採や植樹している人工林において、下草を採食に来たニホンジカ（以下シカ）が、苗木や成長過程にある樹木の枝葉を食べたり樹皮を剥がしたりする「シカ被害」が全国的に深刻な問題となっています。

東京都も例外ではなく、平成16年に奥多摩町でシカ被害によって裸地化した山腹が、集中豪雨等により広範囲で崩落しました。このような被害の拡大を事前に防止し、対策をたてるためには、地域レベルで、シカの生息頭数の分布を把握することが必要です。

そこで、東京都農林総合研究センター（以下当センター）ではシカの生息密度の分布を把握するのに適している「糞粒法（フンリョウホウ）」を導入し調査を行っています。この糞粒法は、調査対象の動物のフンを数え、そのフンの密度から生息数を推定する方法です。当センターでは、西多摩地域の山間部における地域特性を反映して、より精度を高めた「東京都版糞粒法」を開発しました。この方法によってシカの「生息密度分布図」を毎年作成したことで、年ごとの生息密度の変化が明らかになっています。

西多摩地域におけるシカの生息地域は、主に奥多摩町の多摩川北岸とされていましたが、平成23年の調査により東南部に位置する日の出町、あきる野

市、八王子市においても生息が確認され、平成24年の調査では、生息域が急速に拡大していることも明らかになりました。森づくりを進めていく上で、シカ対策は大きな課題であると言えます。

シカ被害を防止する方法のひとつとして、植栽地にシカが侵入しないよう柵を設置する方法があります。しかし急斜面でかつ凸凹のある地形で使用すると地面に接している部分に隙間が生じやすく、そこからシカが潜り込んでしまったり、重くて運びにくかったりと、急峻な立地環境が多い西多摩地域の山林地に適した柵がありませんでした。

そこで当センターでは、地面と接する部分を長くしてシカがそこに乗ってしまい潜り込めない構造にしたり、素材の選定等により、地面の凸凹の影響を受けずに隙間が生じないようにしたりと工夫を盛り込んだ「急斜面版シカ侵入防止柵」を開発し、導入を開始しています。

当センターでは、今後もシカの生息域の把握と、シカの食害を防止するための対策方法などの開発に努め、シカと共存できる森づくりに取り組んで参ります。

（東京都農林総合研究センター 緑化森林科）



シカの食害により  
裸地化した表土が  
流出した現場



急斜面版  
シカ侵入防止柵  
設置状況



調査のため設置した自動カメラにて撮影（都内森林）

# 森づくり支援倶楽部 26年度入会のご案内

森づくり支援倶楽部では、東京の森づくりを応援する26年度の会員を募集しています。会員特典として、会報誌や多摩産材の木工品等を差し上げています。会費は、運動のPR活動や花粉の少ない森づくり募金などに活用されます。

お気軽にご入会いただける

<b>サポート会員</b> (個人:1名)	<b>入会金 1,000円</b> <b>年会費 なし</b>
--------------------------	------------------------------------

加入されると・・・

**木製会員証、協賛施設割引券、会報誌**が届きます。

より森づくりに協力したい&多摩の森林にご興味のある方

<b>正会員 (個人)</b>	<b>年会費 3,000円</b> (ご家族も登録できます※)
<b>賛助会員 (法人)</b>	<b>年会費 50,000円 (1法人)</b>

会員資格は、翌年の3月31日までとなります。

加入されると・・・

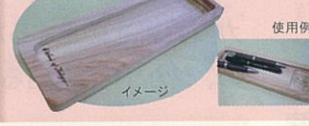
**多摩産材製品(初めての方は会員証)、協賛施設割引券(20枚綴)、温泉施設半額券、会報誌**が届きます。

また、倶楽部主催の**森づくりイベント**に**無料**でご参加できます！サポート会員は有料でご参加できます。

※ご家族の登録について：

登録の上限は6名です。登録人数分の会員証発行とイベント参加費は無料です。その他の特典は、1名分とさせていただきます。

継続正会員対象の特典  
多摩産材「ペントレイ」



使用例

イメージ

## 新規入会キャンペーン

### ◆ サポート会員(新規)

新規でご加入された方を対象に先着20名様まで**多摩産材コースター**をプレゼント



イメージ

マグネット付きがイラスト入りのどちらか1枚(選べません)

### ◆ 正会員(新規)

新規でご加入された方を対象に先着20名様まで**多摩産材カードケース**をプレゼント



イメージ  
(用紙は付きません)

## 継続入会キャンペーン

### ◆ 正会員 (昨年度、正会員だった方対象)

継続でご加入された方を対象に抽選で20名様に

**多摩産材  
フォトフレーム**  
をプレゼント



イメージ

※過去に当選された方は、抽選から外れます。予めご了承ください。

(写真は付きません)

## 賛助会員のご紹介 ～私たちは、「花粉の少ない森づくり運動」に協力しています～

賛助会員を随時募集しています！(年会費50,000円)  
会費は、「花粉の少ない森づくり」に役立てられます！

## 立山産業株式会社

(本社)  
〒197-0011 東京都福生市福生 973  
TEL: 042-553-9111 FAX: 042-553-9152  
URL: <http://www.tateyama-net.co.jp>  
E-mail: [eco@tateyama-net.co.jp](mailto:eco@tateyama-net.co.jp)

## 新東京木材商業協同組合

理事長 内田 鉄夫  
〒171-0044 東京都豊島区千早 1-20-13  
URL: <http://www.zaimokuya.or.jp/>  
TEL: 03-3959-7811  
FAX: 03-3958-3592

## “考えます木材流通を前向きに” 東京材木商協同組合

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番8号  
URL: <http://www.33.ocn.ne.jp/~zaisho/>  
TEL (03) 3862-7081  
FAX (03) 3864-9123

## ～木を育てたい。だから木を使おう。～ 一般社団法人東京都木材団体連合会

会長 吉条 良明  
〒136-0082 東京都江東区 新市場 1-18-8  
URL: <http://homepage3.nifty.com/tomokuren/>  
TEL: (03) 5569-2211 FAX: (03) 5569-2233

## 東京木材問屋協同組合

理事長 吉条 良明  
〒136-0082 東京都江東区 新市場 1-18-8 木材会館  
URL <http://www.mokuzai-tonya.jp/>  
TEL: (03) 5534-3111 FAX: (03) 5534-7711

「東京の木の紙」のお問い合わせは

**4030** 株式会社 **シオザワ**  
SHIOZAWA  
〒104-0043 東京都中央区湊 3-4-11 4030ビル(第二営業部)  
TEL: 03-3551-6201 FAX: 03-5541-7725  
URL <http://www.shiozawa.co.jp>

多摩産材と暮らそう！  
**パネ協**  
日本住宅パネル工業協同組合  
Japan Housing & Components Manufacturers Co-Operative  
東日本支所  
〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-15-7  
Tel: 03-3947-7611 Fax: 03-3947-7627  
URL: <http://www.panekyo.or.jp>

公益財団法人東京都農林水産振興財団

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町 6-4-1 青梅合同庁舎 3階

TEL: 0428-20-8153 <http://www.tokyo-aff.or.jp/club/index.html>

E-mail: [moriclub@tdfaff.com](mailto:moriclub@tdfaff.com)